

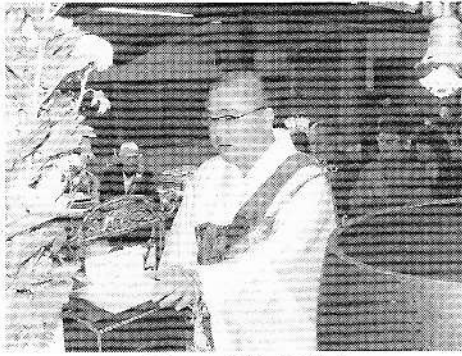
眞
圓
頓
寺
た
よ
り

発行所
山鹿市山鹿55
圓頓寺
☎43-2424

第三十四世

順境院 日撮

お盆の候、檀信徒の皆様方がお過ごしでしょうか。常日頃よりの当山護持護法のお心の数々に対し、厚く御礼を申し上げます。



1月1日新年祝持会

私もおかげを以って住職として日々法務に励むことができております。当山をより良い菩提寺にしていく所存でありますので、今後の変わらぬご信心とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

さて昨年、仏教国ブータン国王ご夫妻が、初の外遊として日本を訪問されました。新婚との話題性もあり、好意的に各ニュースで取り上げられました。被災地にも僧侶を随伴して赴かれ、被災地に真摯なお祈りを捧げられました。そのお姿に、さすが仏教国の国王である。まさに仁徳溢れる行

幸と感じられました。

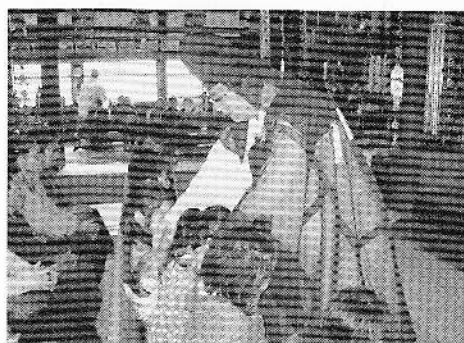
ブータンは仏教を国是としているそうです。ニュースでも幸福指数というものが併せて紹介され、国は小さく貧しくとも先進国の通常経済指標では量ることができない、心の幸せを表す指数では一等国であるという。仏教を国の指針としている所以であります。

物質より心の充足を大切にす小国、ブータン。先進国でありながら、政治・経済はもとより心にまで混乱へと彷徨う大国、日本。両極であります。しかしながら、ブラウン管越しであってもブータンの人々の眼は光り輝いていました。心の豊かさで国の力を量るといふ発想。同じ仏教国でありながら、私たち日本人にとつては羨ましくもあ

り、多少の共感があつても、もはや理解し実感できるには、ずいぶん縁遠い考え方になってしまっているようです。こういう話題は常に一過性であります。残念でもあります。

そのブータン国王ご夫妻が、被災地訪問として小学校をご訪問、ご講話もされました。このワンシーンがニュースで流れ、私の印象に強く残りました。『君たちは龍を見たことがありませんか？』との国王からのお問いかけ。子供たちはキョトンとしていました。『いつも私は心の中で見ています。』『君たちも心に龍を見ることができるようになる生きなさい。』とお答えになりました。子供たちは、国王のお言葉がわかったのであろうか。

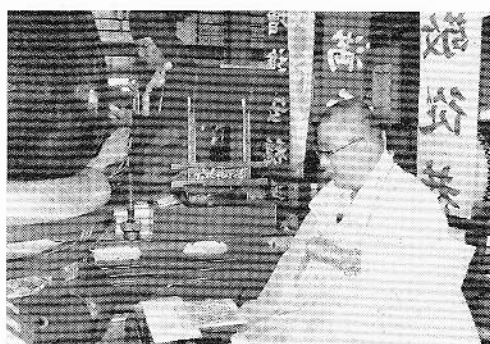
国王のご真意はこうでありましょう。国王は、同じ仏教国である、被災で傷ついた日本の幼子を前に、仏教国の国王として、慈悲をもって仏教の守護神の存在をお示しになられたのでありましょう。いかなる過酷な境遇であつても負けるな。心の中に、困難に打ち勝つ強い「龍」を誰しもが持つており、いつでも見る事が



鬼子母神大祭で子供を祈祷

でき、助けしてくれるものです。悲しみ不安を乗り越えて、仏教の信仰をもって、龍の守護も相まって頑張りなさい、龍を感じる事ができる強い大人になって、日本を復興するように、とのお言葉であつたのでしよう。幼子の魂は、きつと受け入れたであります。きつと加護となります。龍とは、仏教の守護神であり、ブータンの守護神でもあります。また特に法華経にても、とてご縁が深い大切な守護神でもあります。八大竜王、龍女成仏しかりです。龍神さまは、圓頓寺本堂にも天井絵として守護鎮座されています。(二十二ページ参照)

「今本時の娑婆世界は三災を離れ四劫を出でたる常住の浄土なり。仏既に過去



立教開宗法要で協導師を務める住職

にも滅せず、未来にも生ぜず、所化以て同体なり、此れ即ち己心の三千具足、三種の世間なり。」

『観心本尊抄』

日蓮大聖人のお言葉です。法華経を信仰しお題目を唱える私たちには、龍神さまも含め、最も尊いものを観ることができなのであります。それは何か、仏さまで

セシモニーホール

山鹿
天龍会館

宮川葬祭 TEL (0968) 43-2211

フリーダイヤル 0120-45-0948

TEL (0968) 44-0444

あります。天界の龍、なおかつ、仏菩薩を含めた全てであります。その全てが、自分の心の中に常に存在し、いつでもどこでも観ることができ、出会うこともできると、おっしゃっていただけるのです。

法華経と御遺文の学習

「大光は普く照らしたもう。」

『妙法蓮華経序品第一』

仏さまの悟り、智慧、慈悲、存在自体が光にたとえられます。大光、大きな光であります。

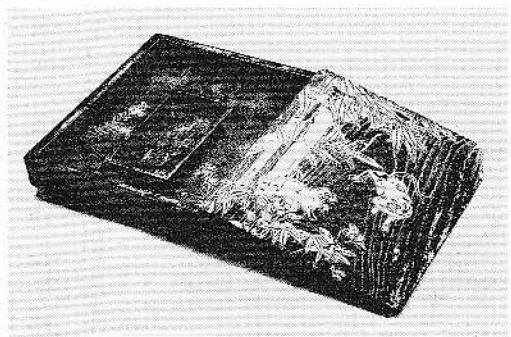
光がなければ、私たちの視覚というものは成り立ちません。光の作用により、物事を知覚することが出来るのであります。私たちの

つまり、私たちと仏さまとは同体であり、お守り下さるのです。至心、お題目信仰に励み、常に仏さまとともにあるという安心を自覚できるよう、自他ともに精進していききたいものがあります。

生活に、光は必要不可欠であり偉大であります。

だからこそ、視覚同様、物事の本質を観るといふことには、法華経という仏さまの大光が必要なのであります。この大光を指針にすればこそ、おのずと真実の相が常に顕らかなのであります。

また、この大光は、私たちの存在を平等に照らし出して下さってもいます。大



伝日蓮大聖人使用「硯」(千葉県・清澄寺蔵)

光に包摂されて生かされているのであります。いつでもどこでも、大光に護られ、照らされていることを、素直に自覚することも大切なのであります。

『松野殿御返事』

「魚の子は多けれども魚となるは少なく、菴羅樹の花は多く咲けども菓になるは少なし。人も又此の如し。」



お題目からはじまる。

ビル新築工事から増改築まで何でも致します
住宅金融公庫其の他手続代行

井上組

井上勝介

熊本県山鹿市下吉田691番地

TEL. 43-2204

朝日新聞 山鹿専売所

山鹿市上広町344の7

☎43-2664

藤本俊範

菩提心を発す人は多けれども退せずして実の道に入る者は少し。すべて凡夫の菩提心は多く悪縁にたほらかされ、事にふれて移りやすき物なり。鎧を著たる兵者は多けれども、戦に恐をなさざる者は少なきが如し。」

口蓮大聖人の御文章の一節です。大意は次のとおりです。

魚の卵からかえる稚魚はたいへん数が多いけれども、成魚となるものは少ない。菴羅樹(マンゴー)の花は多く咲くけれども、果実に実るのは少ない。

人間もまたこれと同様であります。仏道を求める心をおこす人は多いけれども、どこまでも求め続けて真実の仏道に会いたてまつる者は、極めて少ないのであり

ます。

凡人が仏道を求める心は、様々な邪な条件によって迷わされ、事あるごとに変わりやすいものなのであります。それはちようど、鎧をつけていかにも強そうに見える武士は多いけれども、いざ戦になって敵を恐れず勇敢に戦う武士が少ないのと、同じようなものであります。



寒修行の英人上人・檀信徒

この御文章で大事なことは、最も遇い難き法華經という、最上の尊い御教えにせつかく今生にて御縁を頂いたからには、どのようなことがあつても、固く信じ、て信仰を貫いていかなければならないということであり、ります。

日蓮大聖人からの、菩提心への戒めであります。熱しやすく冷めやすい、私たちの信仰心。これに注意し、常々、信仰の初心を忘れないようにしなければならぬのであります。



大小宴会・会食

祝儀・仏事・会席・鉢盛・折詰

横手会館

横手仕出し

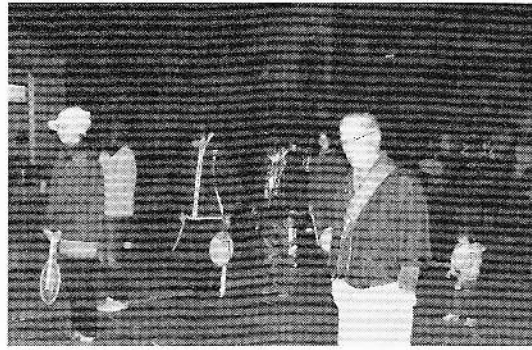
山鹿市九日町(八千代座前)

TEL. (0968) 43-2206

割烹よこて

肥後銀行前 TEL. 43-7500

帰山式に参列して思う



寒修行に参加の中原総代（手前）

総代 中原康一

五月三日に行われた立教開宗の護法報恩会法要と、大黒尊天祭の準備、運営にご尽力いただきました皆様、特に婦人会・当番地区の皆様にご感謝申し上げます。院首・英知上人が大荒行

第参行（大荒行参百日。初行、第再行、第参行を各百日間）を平成元年に成満され、檀信徒が勧請した子大黒様。大荒行で会得した祈禱秘法により子大黒様を洗体祈禱し、縁ある人、縁なき人も各家庭の福德倍增。病める者には良薬を与え、無智の者には智者となし、悪心の者は善心とするなど、大黒尊天を信ずる者は福を得ること限りなし。と言われている大黒尊天様。今年大荒行初行を成満した親戚寺（熊本市）の子息の帰山式にお参りし、先輩僧侶と親戚の子息の話をお聞きしました。自分の時間は一切なく、眠りを断ち、懺悔の法を修



鬼子母神大祭：水行式

し、一切娑婆との交わりを断絶する壹百日の大荒行。二時間の睡眠の後、懈怠（悪を断ち、善を収めるのに全力的でないこと）心を払い、六根と身を浄める日に七度の水行、朝五時・夕方五時の食事（三分粥、具のないみそ汁）、食事と言ふよりは飲むだけで飢えをしのぐもの。昼と夜は全てにおいて気を研ぎ澄まし、常に精進し、内堂にて読経三昧の日々。

熊本日回新聞

(有)熊日山鹿南販売センター

山鹿市大宮町439

阿蘇品 雅彦

毎度ありがとうございます
米・肥料・農薬・たばこ
(全商品配達致します)
(有)あそしな米穀店

代表取締役 阿蘇品 和彦

☎ (0968) 43-2526

無料電話 0120-23-2526

山鹿市大宮町641-2

社会福祉法人 大道福祉会

若葉保育園

理事長 阿蘇品 洋介

耆百日の最初の三十五日までは、自行期間として自分の罪障消滅に勤めます。三十六日～九十日は化他行期間として、檀信徒、一般参詣者の祈願に努めます。そして九十日～百日までは、報恩行と仏様、日蓮大聖人へ感謝する期間と定められています。

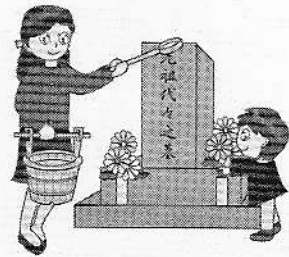
耆百日間、各僧も役割があります。その役割は伝師の雑役、先輩僧の雑役、内堂供養、全堂経理と大きく四つに区分されます。伝師の雑役は伝師の身の回りのお世話や食事の準備等を行います。先輩僧の雑役は先輩僧の身の回りのお世話や食事の準備等を行います。内堂供養は参詣檀信徒、一般参拝者から祈願を承ります。全堂経理は会社経理と同様に全堂の会計等の事務全般

を承ります。

先輩僧侶の話で心に残ったのは、『訓戒を守り、過酷な取り決めの日課を修練しながらも懈怠心が頭をもたげ、寒さと睡眠不足による妄想に侵される。ご本尊への慈しみ、檀信徒の顔、握手した手のぬくもり、お寺を護る家族の顔。涙をこらえようとすればお経の声が詰まる。先輩僧より強く叱咤され我に返るも、その疲労は計り知れず。また睡眠と妄想が襲う。しかし行が進むにつれ、その功德靈気が身を包み、精神の安定、落ち着いてきて、その鍛錬に支障が出る事が無くなる』

この言葉に大荒行の厳しさとその成果を網羅されていると感じました。

今年の大荒行耆百日を成満されたお上人様方は帰山



式の後、沖繩と東北にて慰霊行脚をされました。先の戦争で亡くなられた英霊と一般民間人の方々の御霊、昨年の大震災で亡くなられた御霊の成仏されることを祈りつつ、唱題行をされました。私も及ばずながら心で祈りつつ話をお聞きしました。

立教開宗の護法報恩会法要と大黒尊天祭、さらに圓頓寺六大法要や護法・護持にご尽力いただきます皆様へ、改めて感謝申し上げます。

合掌

歴史と文化の街 日本一の装飾古墳と八千代座

山鹿温泉

清流苑 鹿門亭

〒861-0501 熊本県山鹿市下町1768
 電話 山鹿 (0968) 43-2101(代)
 ファックス (0968) 43-5153

大黒尊天祭で除災招福を



一字一石写経する田中総代（左）

総代 田中栄一

大黒尊天は、山鹿温泉の授福の神として尊崇され、その姿は財宝の豊富を表し、福・禄・寿の三徳を与えられる除災招福の神であります。また大去垢様と言われ、いろいろの願いをかなえて

くれる度に垢をためるので、圓頓寺では一年に一度、五月三日にその垢を去ってさしあげ一年間の慰労と感謝、そして新たな祈願をします。（圓頓寺ホームページ引用）
私も毎年参加しますが、立教開宗七百六十年ご報恩会法要に始まり、大黒尊天大祭と続き、昼食後の皆さんが楽しみにされている福引開始時間になると、本堂はざわめきあつて今年ほどんな福が無い込むか、皆さんワクワクドキドキ賑やかなこと、楽しく過ごすことができました。しかし、開催するにあたり護持会の皆様は元より、婦人会会員の方々のパワフルな活動には感謝に堪えません。ありが



婦人会バザー大にぎわい

とうございます。
ところで、福引きの準備に致しましても多くのスポンサーの方々より、毎年豪華な景品をご提供いただいております。景品の多いことには驚きです。全員に何が当たる一般福引、そして特別賞の抽選と凄いです。スポンサーの方々には御礼申し上げます。

和 食 亭

栄太郎

TEL0968-43-8080

山鹿市山鹿郵便局となり



マルカメ醤油・味噌 灯笼シヨトシヨ

山鹿市中1000-2
☎44-3131

婦人会副会長 木下美枝子



信行会会長賞を贈る木下さん(左)

婦人会行事報告

このように皆様を支えていただき、この大黒尊天祭が行われているのですが、ただ、気になることがあります。それは若い方の参加が少々減ってしまったのか？
理由としてはゴールデウィークの初日と言うことも有るのかとは思いますが、多くの方に参加いただきたいと

思います。始めの引用にも書きましたが、大黒尊天様は『除災招福の神』です。お寺へ足を運んでいただき、災いを取り除くと共に、福を招きいれて下さい。私もお上人様方の祈禱を受け、新たな気持ちで一年間、精進していきたいと思えます。

合掌

早いもので平成二十四年もお盆を迎える月でございます。会員、檀信徒の皆様への平素のご協力、ご援助を心より感謝申し上げます。二十四年度前期の婦人会の行事を報告させていただきます。

きを用意します。以前は婦人会会員が主になって準備してりましたが、会員も寄る年には勝てず、会員がお手伝いをして、例えば、今度の法要の味は鹿北の方達の味だった。今回は菊鹿の方達の当番だったからと、六大法要のおときは当番地区の方達が主になってと変わりつつあります。どうぞよろしくお願致します。

他に婦人会だけの法要が、

二月 三日 節分会

二月十六日 宗祖降誕会

四月 八日 お釈迦様の誕生日

(お釈迦様誕生日前日の)

四月 七日 婦人会総会

総会ではその年厄年を迎える会員と護持会役員の方を特別祈禱をしていただき、

祝膳を用意いたします。総会に出席する朝、各自我が

建設業

砂利採取販売業

コンクリート二次製品製造販売

有限会社 阿蘇品組

代表取締役 阿蘇品 豊

山鹿市中483

電話(0968)44-7815

電気設備工事設計施工

有限会社 中原電機商会

代表取締役 中原徳男

熊本県山鹿市栄町298

電話(0968)43-2087

家に咲いている花を持ち寄り、四月八日の花まつりの為の花御堂を作ります。六月二十三日

圓頓寺の清正公様の頓写会（本妙寺清正公様の頓写会は七月二十三日です。）

婦人会として一番頑張っているのは、五月三日の大黒尊天大祭です。婦人会の運営資金を作るためのバザーを致します。五月一日から餅米洗い、餅搗きの為の準備をして、二日境内にテントを張ったり、大黒旗を立てたりと、男性の総代さん・役員さん方も大忙しで、私共も餅搗き班と昼食を用意する班とに分かれて大わらわです。三日の赤飯の為の米も洗い、ササゲも炊いて用意し、冷めてきた餅を袋に詰めたり、バザーの為に提供いただいた品に値札



大黒もちを作る婦人会会員

を付け、明日販売するように用意しておきます。三日朝早くから赤飯作りをいたします。当番地区の方達も一緒になって赤飯を計量して、パックに詰めて、販売のお手伝いをして下さいました。今年のバザーにも皆様のご協力で野菜、漬物、履物、花苗等々沢山の品が並びました。おかげさまで

お餅も赤飯も早くに完売いたしました。地区当番の方達は婦人会の手伝いに出たような形になってしまいました。何かといろいろ反省することが沢山ありましたが、どうやら無事という感じでした。ありがとうございました。

最後になりましたが、婦人会に加入していただきたいと思います。声かけが足りないのでしょうか？ 魅力が無いからでしょうか？ 皆様現役で働いているからと言われますが、全部出席して下さいとは申しません。ご都合のついた日だけでも参加して下さい。圓頓寺の由緒ある婦人会を無くすわけにはいきません。どうぞ皆様のご協力を心からお願いをいたします。

合掌

くつ・はきもの専門店



やまが中町商店街
☎(0968)43-2282

お食事処

花見坂
HANAMIZAKA

山鹿市花見坂330~13 ☎44-6435

婦人会の大切な日



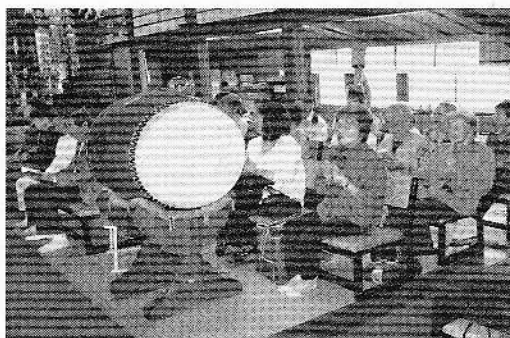
一字一石写経する伊藤さん(左)

婦人会会計 伊藤千恵子
圓頓寺婦人会は明治二十年、村雲御所『瑞龍寺』の第十世の法燈を継がれた、明治天皇のおば君にあられる「瑞法院宮日栄尼公」が、圓頓寺に御来訪の折り創設された「村雲婦人会」から百二十有余年受け継が

れている。とお聞きしています。

こんな歴史のある婦人会にお世話になっていますが、現在は護持会の年間六大法要の他、婦人会では節分会(星祭り)、宗祖降誕会、花祭り(お釈迦様の誕生日)、清正公頓写会、龍口法難会などの行事が行われています。すべの行事が婦人会にとつて、また私にとつて大切な行事ですが、その中でも一番大切と思っているのは、五月三日の「立教開宗法要・大黒尊天大祭」でございます。

立教開宗とは皆様ご存知のとおり、日蓮大聖人が三十二歳のとき、建長五年(一二五三) 清澄の旭ヶ森にて、上る朝日に向かって「南無妙法蓮華經」とお唱えになった、大切な日です。



立教開宗法要：お題目を唱える壇信徒

JA鹿本(株)鹿本広域福祉センター総合葬祭会館
やすらぎの里



天 寿 苑

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. 0968-44-0983

葬儀場・法事会館を併設した総合葬祭会館です

様から寄贈された品々をずらりと並べ、茶の間では一日から準備をした大黒餅、赤飯を並べてバザーとして販売いたします。

立教開宗法要・大黒尊天大祭が本堂で行われているときは、婦人会会員は当番地区の方々と共に厨房で昼食準備や、バザーの準備をしておりますので、加持祈禱はお上人様が厨房まで来ていただきます。立教開宗法要・大黒尊天大祭が終わって参詣の皆様が昼食に檀信徒会館へ来られたら、喜んでこ舞いの忙しさになります。

緒に喜んでいただけたと思います。

婦人会は高齢化してきました。今後ともご協力のほど、

初講法要法話

法華經に会えて良かった

小寒の一月十三日、今年

始めての法要「初講法要」

が、本堂一杯の檀信徒の参詣により行われました。

法話・法要に先立ち護持

会事務局より、初講法要の

当番地区、一月二十一日か

ら八日間の寒修行、三月十

六日に予定されている護持

会總會、三月二十八日の鬼

子母神大祭、和田純夫さん

奉納の平成二十四年カレン

ダーの紹介があり、住職か

ら法話の講師桑田尊弘上人

の紹介と、『法話を聴くこと

は耳の修業、心の修業です。

ど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

南無妙法蓮華經



受付は順番待ちです

ひと言ひと言大事・大切にお聞きください。』と話があり、半鐘を各日図に大太鼓・団扇太鼓・お題目で法話を

アシスト

株式会社 アシスト ニッセイ同和損保(株)・日本生命・大同生命(株) 代理店

〒862-0963 熊本市南区出仲間9丁目5-10.4F Tel.096-214-4771
Fax.096-214-4773 携帯090-2715-2274 http://www.assist-kumamoto.jp

いただく熊本市・妙行寺副住職、桑田尊弘上人をお迎えしました。



團扇太鼓・お題目で桑田上人をお迎え

桑田上人は、お題目三唱、読経に続き、「妙法尼御前御返事」(今年の圓頓寺たより一月号第六十一号、二〜三ページをご覧ください)を拝読、分かりやすく説明され、昨年度大荒行第参行を成満、今年も午前六時に水をかぶって、身を清浄にし



桑田上人の法話

ている。「清浄衣」しよんじゆえで入行し、鬼子母神様に命を預けて、法華経の教えを体得するため、死にもの狂いで修行する大荒行の状況を述べられた後、高校時代の友人の話に移られました。高校卒業後十年ぶりに会った友人はガンにかかっていた。手術後自宅療養していた友人とメールのやり取りをしていたが、二年後に再発、ガンが転移し進行が早かった。この間自分は何をしていいか分からず、『自

分がすがっているものになすがって、訓読で書いてある法華経の本を贈った。』しかし友人は亡くなってしまった。

友人はメールが打てなくなる直前、『：再発を知らされもういいやと思つた時、桑田から(法話のまま)法華経の本を貰った。読んでみた。難しかったけど救われた。死ぬのが怖くなくなつた。ありがとう。』という内容のメールを貰つて、返信するのに一週間ほど悩んだ。『：自分がすがっているものをあなたに分けただけ。それだけのことでありがとうと言つてもらえる価値があるなら、良かった。』と返した。

両親から、他宗派だったがお経をあげてほしいと話され、友人手書きのメッセー

印刷社盛文社 有限会社

山鹿市下町1807
TEL 0968-43-2604
FAX 0968-43-6075

生活環境に、やさしい企業

水廻りの事ならすべてOK!

TORAYA  SHOKAI

合資会社 **とらや商会**

TEL(0968) 43-2212 FAX(0968) 44-5990

〒861-0532 熊本県山鹿市鹿校通一丁目3番29号

ジを渡された。『…法華經に会えて良かった。桑田にお経をあげてほしい。』と書いてあった。友人にあげたお題目は、気持ち素直に出せた瞬間でした。と紹介されました。

最後にいかに迎えるか。どうやって生きるかに他ならない。幸せ・不幸せを決めるのは自分。いい人生だった。幸せだと思える人生を送ってほしい。そのためにお題目はある。心ひとつでお題目を唱えましょう。とお題目三唱で法話を終わられました。

休憩後、大太鼓・団扇太鼓・お題目で導師の英人上人や院首上人ら七名のお上人が入堂され、日蓮大聖人の初命日法要である初講法要が行われました。読経が続く中、お祖師様、清正公

様、鬼子母神様へのお給仕である供膳の儀、一字一石写経が奉納され、英人上人は導師席で檀信徒が受付で申し込んだ特別回向を、ひとつひとつ祈禱されていました。

初講法要が終わり英人上人から挨拶があり、参詣の檀信徒の皆さんは会館へ移動し、当番地区の方々、婦人会会員の皆様が前日から



寒修行参加の芝田さん夫妻（前列左）

寒修行を終えて

準備された、心づくしのおとき本膳をいただくことができましたが、参詣者が多く一度に食べることが出来ず、順番待ちの方も多数おられ、筆者も席が空くのを待つてご馳走になりました。

昼食を終わられた方々は、法話を脳裏に、特別回向の祈禱札を手に帰路につかれました。

合掌
(編集委員・谷)

熊本市帯山 芝田宏之

私は、昨年と今年で二度目の寒修行に参加させていただきました。昨年は五日間だけ行くことが出来ましたが、今年は必ず全部行くぞと心に決め、妻と参加いたしました。

昨年は『お釈迦様・日蓮



拝む心で尊い品を

梅谷佛具店



仏壇・仏具・寺院用具
寺院納骨堂設計施工

本店

〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9
TEL (092)271-0456・FAX (092)271-0464

支店

〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4
TEL (092)806-7499・FAX (092)807-1079

◆E-mail umetani@umetani-jp.com

◆HP <http://www.umeyani-jp.com>

大聖人様のご加護がありま
すように。ご先祖様の供養
になりますように。みんな
と霊山浄土で会えますよう
に。』と出発前に本堂前で
お祖師様に祈っていました。



寒修行：本堂前でお祖師様に祈る

しかし今年は、『「生き
とし生けるものがみんな幸
せになりますように。有縁・
無縁の諸精霊がみな成仏し
ますように。』と併せて祈
りました。この一年、みん

なが幸せにならなければ自
分の幸せもない。とつくづ
く感じさせられました。日
蓮大聖人様がおつしやられ
たとおりです。

英人上人様と参加者全員
が本堂前でお祖師様にお祈
りを捧げ、さあ出発です。
団扇太鼓を力いっぱい叩き、
『南無妙法蓮華経、南無妙
法蓮華経、南無妙法蓮華経』
とお題目を唱えながら歩き
ます。始めは、『寒いなあ！
今日はしんどかったなあ！
腹立つなあ！ちよつと恥ず
かしいなあ！』と、いろい
ろな雑念が浮かんできます。
歩を進めるごとに南無妙法
蓮華経のお題目の音が力強
くなつていきます。すると
不思議なことに、今まで浮
かんでいた雑念が消えてい
きました。恥ずかしさもあ
りません。



夜の街を修行する芝田さん・檀信徒

『みんなが幸せになりま
すように。ご先祖様の供養
になりますように。お釈迦
様・日蓮大聖人様のご加護
がありますように。諸天善
神様のご加護がありますよ
うに。』と祈りながら山鹿
の街を修行しました。一日
目、二日目、三日目・・・
『しんどいなあ！今日はど
うしよう？やめようかなあ？』
邪念がすぐ出てきます。し

航空券・JR・個人旅行・団体旅行

株式会社 **ワールド観光**

TEL 0968-72-5656

玉名市中尾426-3



法話を聴く藤川さん

鬼子母神大祭 幼き心に信仰が

かし、『南無妙法蓮華經、お題目修行頑張るぞ!』という気持ちで勝り、圓頓寺様に行き、寒修行するたびに気分はすつきりなります。身体も軽くなってきたかなあ。四、五、六、七日目、最後の日、修行は終わったぞ。功德も積めたかな。

お上人様、総代様、信行会の皆様、檀信徒の皆様、このような修行の場を与えて下さり、本当にありがとうございます。

これからも、お釈迦様、日蓮大聖人様の教えに従い、お努めをしてまいります。

南無妙法蓮華經

山鹿市中 藤川悠子

三月二十八日春季彼岸総供養会と、荒行成満修法師による子安鬼子母神大祭が厳修されました。いつもの年はちらほらと咲く桜の花も、今年は長い寒波のせいかまだ固い蕾のままです。春休みの折でもあり、子や孫と一緒に安寧を祈る祖父母や、両親に連れられて



濱田上人の法話

の参詣で本堂は一杯でした。初めに、荒行を成満された延寿院副住職「濱田義孝」上人の法話があり、荒行は皆様の素晴らしい縁があつて、世間の諸々から解放され心ゆくまで読経に一生懸命邁進し、自分自身を見つめなおしてゆくことが出来たことの慶び、また、いつもさりげなく使っている『大変』という言葉の意味は、『大きく変わる』という事など、私達の生き方として解りやすく説法して

婚 礼 ・ 着 付

サンロード大住

山鹿市古閑 1286-3

☎ 44-6277



水行式を見守る子供たち①

いただきました。
引き続き英人上人導師の元、お彼岸先祖供養会が厳かに営まれ、精霊さまが彼岸に導かれ安らかに安住ができるように祈られ、檀信徒の皆様も心洗われるようでした。

圓頓寺の守護神のひとつであり、宗門外の信者からも崇拜されている子供たちを護る鬼子母神大祭が営ま



水行式を見守る子供たち②

れ、講員の発育成就・運命長久や家内安全・開運除厄などが祈禱され、小さいお子様達が神妙にお祈りしている姿に心打たれました。

水行は英人上人、濱田上人、福山上人の気合のこもった姿で行われ、合掌しながら目の当たりにすることが出来、感謝の気持ちがあがり、悩みが吹っ切れたような気がいたしました。



鬼子母神様に祈る子供たち

こうして日蓮大聖人様 handsを合せ、お上人のお話や水行のすさまじさを見たりすることに、幼き心の中に信仰との縁が芽生えてくるのではないのでしょうか。この子供達が将来の国を、圓頓寺を隆盛に導きいくことを願い、期待し、お題目の世界に入ってください。

南無妙法蓮華經

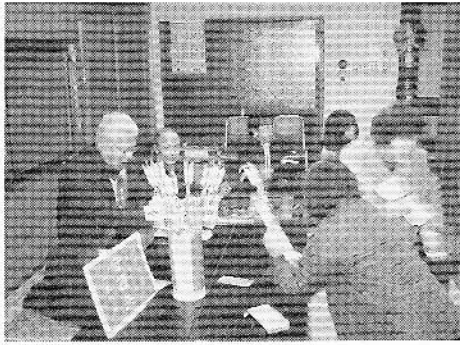


郷土に生まれて味ひとすじ



仏・祝会席・鉢盛・寿司

プラザ店 ☎ 44-4743 ☎ 43-1739
仕出部 ☎ 44-5804



新年祝禱会：守護矢を渡す井上顧問（左）



住職賞の井上浩子さん

奇跡！「住職賞」が妻に

山鹿市宮苑町 井上勝介

前日からの掃除、会場の設営、バザーの準備等多くの方々のご奉仕により、風薫る五月三日、今年も立教開宗七百六拾年の護法報恩会並びに大黒尊天祭が盛大に執り行われました。

あいにくの曇り空、何とかもちそう。山門前の石段より山門、境内にはためく大黒旗、「おはようございます」。挨拶と共に元気よく笑顔で参詣される檀信徒の皆様。空模様心配等余計なこと感じられ、前日からの奉仕が報われた気が致します。

本堂に上がると五徳旗が目に入り、そして祭壇に鎮座される親大黒様。毎年の

風景ではありませんが、何となく気が引き締まります。定刻になり半鐘がたたかれ、大太鼓、団扇太鼓に合せて唱題の中、院首上人、住職上人そしてご奉仕のお上人様が入堂され、厳かなうちに「立教開宗七百六拾年の護法報恩会」が始まり、読経の中檀信徒代表による「二字一石写経」が営まれ、婦人会代表による「供膳の儀」が奉納されました。

護持会会長の挨拶の後、大黒尊天祭と続き、各家庭勧請の大黒様の守護力を増していただく祈禱法楽加持があり、それぞれの大黒様一体ずつ院首上人が「法水」で清め、大荒行参行で得た祈禱により力を加えていただきました。ご存知のとおり、大黒尊天は「福」「禄」「寿」の徳を信じる者に、

●仏具のご注文がございましたら、多少にかかわらず配達いたします



株式会社 松下仏壇店

大牟田本店

大牟田市上町2丁目2 上宮通り
☎0944-56-3675

熊本店

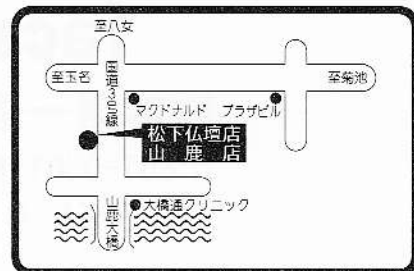
熊本市中央区上水前寺1-12
（東バイパス熊工前）
☎096-384-5666

玉名店

玉名市中平畑1832 玉名高校入口
☎09687-4-4840

山鹿店

山鹿市大橋通り404
☎0968-43-5665



多くの恵みを与えて下さるありがたい法華経の守護神です。お上人様方の木剣が切られ、参詣の皆様それぞれの身体に明日の力を与えていただき、気分最高潮。頑張ろうという気持ちで身体全体にみなぎります。

大黒尊天祭が終わり檀信徒会館へ移動し、婦人会、当番地区の方々が前日から準備されたおときを美味しくいただきました、バザーで大黒餅などを買い求め本堂で恒例の福引を待ちました。役員さんのお神酒と、☆寿福増進安穩楽、☆除病延命息災我、……と大黒天の五徳唱和に併せて打ち出の小槌が栗原さんにより大きく回され、始まりました。

最初に全員に賞品が当たる福引が、世話人の方々の元気良い掛け声のうちに始



子供福引：じゃんけん大会

まり、番号が呼ばれ当たった人の弾んだ声が続きます。お寺のご奉仕の品々、持ち寄られた品々。お酒、砂糖、ビール、洗剤、お茶、醤油などなど書ききれない賞品が、微笑みの檀信徒に次々と渡されていきます。

続いて住職提供の子供福引です。まず参加の子供全員にお菓子が渡され、次いでじゃんけん大会で一位、



子供福引：図書カードを贈る住職

二位、三位が決まり、住職から「図書カード」が贈られました。

さあ！今度は特別賞です。それぞれの寄贈者ご提供の品が壇上に並びます。

『あるが良かな』『私しやあるが欲しか』。皆な思いは同じかな。

谷さんの元気な声とアドリブの中、喜びとお祝いの内に寄贈者（二十ページ福

この街と生きていく face to face

熊本第一信用金庫 山鹿支店

〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿1616-7

TEL 0968-44-4125

引特別賞提供者)によって、当選者に提供された賞品が手渡されていきます。

『さあー今年もこれで終わりばいた』『住職賞たい。ただ原稿んついとるもんない』『まあええたい。当たりやせんけん』。いろんな思いが交錯します。

今まで運動会を含め一等賞には余り縁がなかった私に『奇跡』が起りました。番号札は手伝いに来ていた家内に渡しておりましたが、番号は覚えておりました。

『十番台です。それも前半の方です』『早う言いなつせ』『十二番です』『わっ、当たった』。家内の方を見ると顔を伏せております。原稿付きに参っている様子。『早よう名乗らんか』。名乗り出て来て言うことが、『原稿はあたが書かになん

ばいた』。とうとう私が書くはめになりました。皆様注目の中で住職から賞品を貰う家内を見るのは、本当に気持ちが良いものでした。特別賞提供者の方々、ご参

皆様の好意で 婦人会会長賞

詣の檀信徒の皆様ありがとうございます。ごぞいしました。

これからも圓頓寺の興隆と、檀信徒の皆様のご健勝を祈る一日でした。合掌



寒修行する東島さん

山鹿市鹿校通 東島広子

若葉が美しい季節の五月三日、立教開宗法要・大黒尊天大祭が行われ、私はいつものとおりの婦人会会員の

一員として、仕事の合間をぬって一日の準備から参加いたしました。三日は役員

さんの指導のもと、おときの準備や不足しているものを買いに行ったり、バザーの準備をいたしました。

私達が台所や檀信徒会館で仕事をしていますと、半鐘が鳴らされ立教開宗法要が始まりました。檀信徒会館のスピーカーから流れてくる音で、今回の法要の導師は院首・英知上人だ、護持会会長の挨拶だ、一字一



立教開宗会：祈祷を受ける参詣者

石写経があっている、大黒様のお清めがあっている、など本堂にいらなくても法要、大黒尊天大祭の状況が良く分かります。

本堂での行事が終わると、お参りの皆様は檀信徒会館へ昼食のおとぎに来られるので、当番地区の方や婦人会員は大忙しです。しかし、大勢のお参りにもかかわらず大変協力的で、スムーズ

におときも進みます。
 昼食が終わったからお待ちかねの福引ですが、ちょうど仕事と時間帯が重なり、お断りして仕事に出かけました。当然福引の権利はなにももの思っておりました。が、帰ってびっくりしました。なんと特別賞「婦人会会長賞と原稿」が当たっておりました。これは護持会役員さん、福引の役員さん、



おときをいただく参詣者

そして福引参加の皆様の goodness があったからでございます。感謝！感謝！です。婦人会員ですが、会長さん・役員の方々・会員の皆様が、私が仕事することに理解があればこそ、婦人会と仕事を両立させてもらっております。今後も、信仰と仕事に頑張りたいと思います。ありがとうございます。合掌

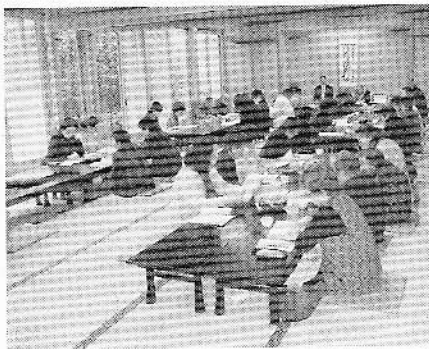
福引特別賞提供者

(順不同、敬称略です)

圓頓寺住職、同(子供特別賞)、福岡・妙教寺、甘木・大安寺、唐津・龍王寺、妙教寺執事・高野上人、妙教寺・高野英一、圓頓寺本総代会、圓頓寺婦人会、圓頓寺信行会、染と織おにき、井上組、熊日新聞南販売店、

行事スナップ

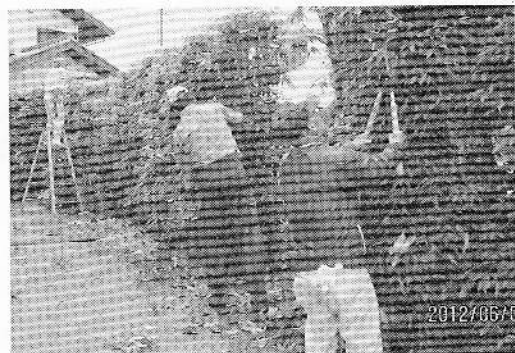
中原電機、原文雄、とらや商会、和田純夫、ワールド観光、阿蘇品組、松下仏壇店、盛文社印刷、寿司処・喜久家、朝日新聞山鹿店、イタリー亭・赤兔馬飯店、熊本第一信用金庫山鹿支店、国富興商、味処・花見坂、履物の銀鳥、日産プリンス山鹿店、井沢保険事務所、宮川葬祭、天寿苑、



護持会総会 (3月16日)



合同大掃除：蛍光灯の笠もキレイに



合同大掃除：樹木を剪定

お寺の行事

土用丑の日

七月二十七日午前十時

お盆お施餓鬼法要

- 当山では例年の通り、七月二十七日（金）に、ほうろく灸祈禱会、お盆お施餓鬼先祖供養法要を催します。
- 特別の追善供養をささげるとともに、世界の恒久平和実現を祈る法要ですので、お家族そろって御参詣ください。
- 五十回忌供養・お盆・先祖供養・初盆供養の塔婆供養御希望の方は、早めにお申込み下さい。
- 一、施餓鬼三尺塔婆供養 二、〇〇〇円
- 一、特別六尺塔婆供養 五、〇〇〇円
- 記念法話（午前十時）
- ほうろく灸祈禱は、九時三十分と十二時にいたします。

十月十三日（土）

午前十時

御会式法要

宗祖日蓮大聖人がお亡くなりになった日で、大聖人の偉大なご生涯をたたえ、しのぶ大事な日です。

日蓮宗徒にとって一番大切な法要です。

御会式には御会式桜を奉納しますが、これは、大聖人が亡くなられたとき、時ならぬ桜の花が咲いたという故事にちなんでおり、全国のお寺で行われています。

十二月 八日（土）

午前十時

荒神大祭

お焚きあげ会

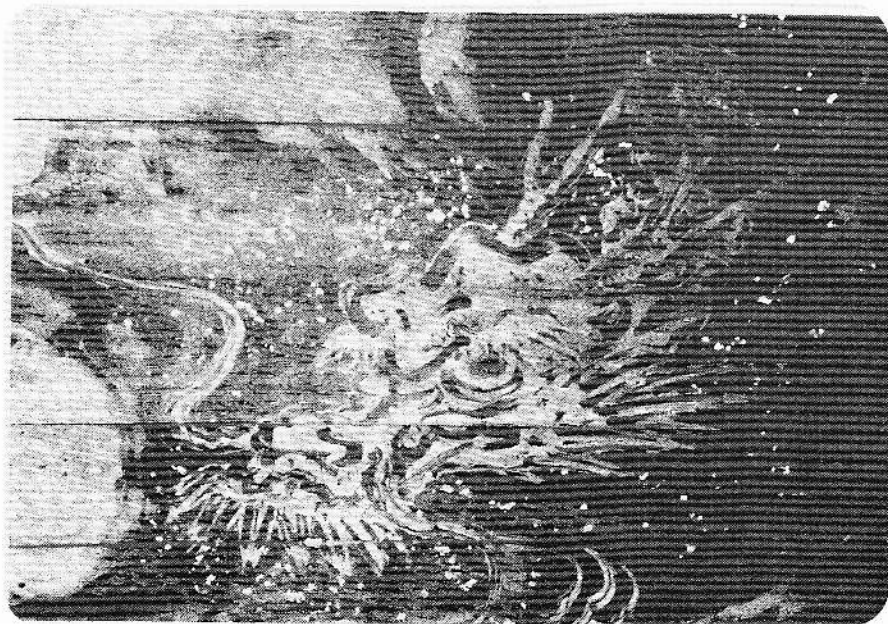
○一年間御護りいただいた三宝荒神（地・水・火）への感謝の法会。御先祖へ一年間の報恩感謝の供養をささげる日。

十二月十五日（土）

合同大掃除

護持会、婦人会、信行会、地区世話人、墓地所有者

檀信徒合同奉仕



龍神図(本堂中央天井)

本堂の中央天井に、墨は薄くなつたが雄渾な龍の絵が描かれています。この龍は八大龍王を表し、法華經の經文にその御名を見ることができ、本堂の守護神としてふさわしい。

製作年代 天保9年(1838年)第21世日導上人の代

絵師 狩野洞容寿信

発行所

山鹿城趾

湯の町てら

常明山 圓頓寺

熊本県山鹿市山鹿温泉五五

☎ 四三一二四二四代

☎ 四四一五一〇〇

FAX・四三二七八二八

電子メール: a0115@orange.ocn.ne.jp

ホームページ: www.entonji.jp

非売品

編集・圓頓寺たより編集委員会

印刷所

山鹿市下町一八〇七

有限会社

盛文社印刷

☎ 四三一二六〇四

FAX・四三一六〇七五

メール: info-seibunya@hyper.ocn.ne.jp